

# キンニヤモニヤモニユメント、登場！

## 元気な海士

地域活性化や産業振興のための活動、  
パワー溢れる海士人の情報を掲載！



海士町で定番の民謡といえば、キンニヤモニヤ踊り。夏の祭典「キンニヤモニヤ祭り」もついに15回目を迎える今年、菱浦港キンニヤモニヤセンター前の駐車場に、しゃもじを持つて踊る女性のモニユメント(銅像)が設置されました。

センター8周年の創業祭に合わせ、3月20日に除幕式を開催。モニユメントを制作していただいた倉澤實先生をはじめ、海士町観光大使である民謡歌手の小沢千月さん、下田竹雄さん、国村千鳥さんほか多くの来賓の方々、そして現在のキンニヤモニヤ踊りのスタイルの完成に尽力された波多總一(そういち)さんにもご出席いただきました。

式典では山内道雄町長から、「この民謡が今後ますます広まって、海士町と全国の人々を結ぶ架け橋になつてくれることを願います。そして、今や町の元気を示す一大イベントになつている8月のキンニヤモニヤ祭りを、海士町民の誇りにしていきたい」との挨拶がありました。

また、キンニヤモニヤ踊りを各地で積極的にPRして下さいている小沢千月さんは、「私はキンニヤモニヤを通じて多くの皆さんを海士へいざなつていますが、今回この銅像が制

作されたことは、まるで海士に守り本尊さまができたよう。シンボルとして愛され、海士発展のもとになつてくれるといいですね」と語りました。

このモニユメントは、菱浦の町並み景観づくりの一環としても重要な意味をもつています。キンニヤモニヤセンターは船やバスの発着所・待合所であるため地元民も観光客も多くの人が利用しますが、センター内に人が滞留しがちです。そこでこの銅像は、センター内ではなくあえて少し離れた屋外に設置しました。「観光客が菱浦集落の散策路へ歩いて移動するきっかけ(導線)となり、人の流れを作ることを狙っています。回遊する人が増えれば通りは活気づき、心地よい空間づくりにもつながります」(建設課)。

5月の連休には、来島した多くの観光客にも注目されていたこの銅像。海士の象徴として長く愛し大切にしていきたいでしょう。



町長から感謝状を贈られる波多總一さん



晴れのイベントの定番・餅投げ！



小学生らも踊りを披露。さすが海士っ子！

今年のキンニヤモニヤ祭りは  
8月28日開催！お楽しみに！